

住宅の建材・設備の 価格高騰・納期遅延の影響に関する 工務店アンケート調査

実施期間 2023年4月17日（月）～2023年5月31日（水）

 **全国建設労働組合総連合(全建総連)**
National Federation of Construction Workers' Unions

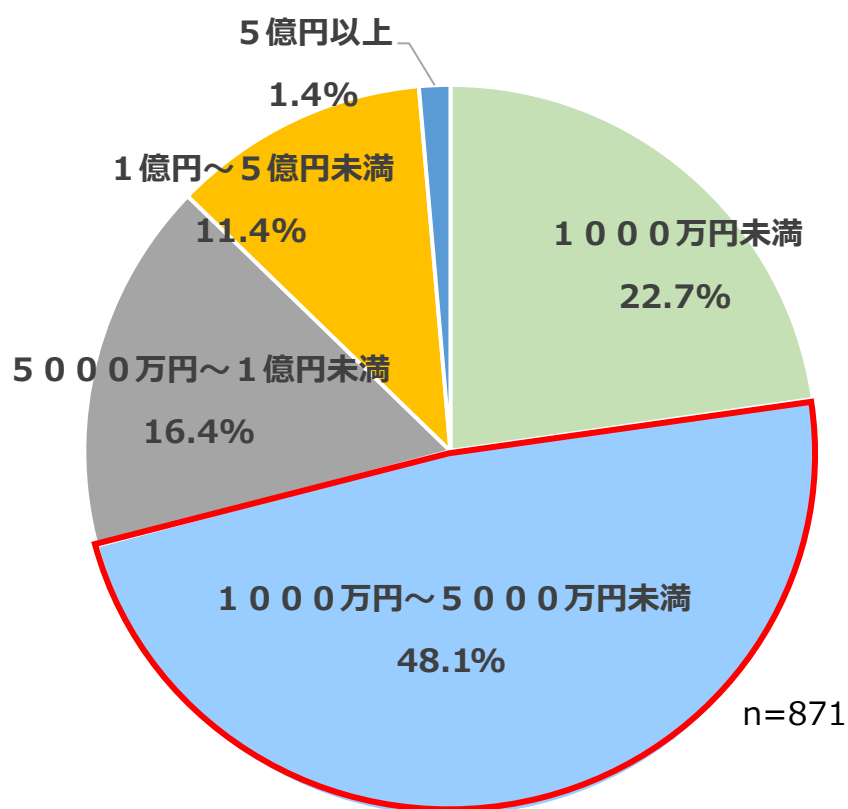
1.回答者情報

33都道府県、877社より回答

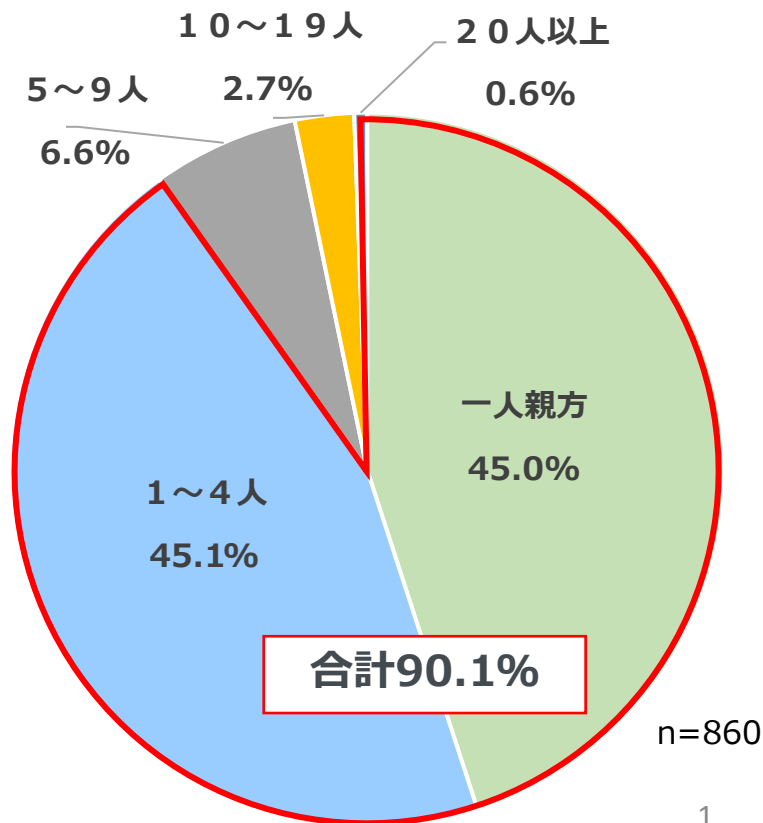
(1) 【回答のあった工務店の所在地】

北海道・東北79社、関東369社、中部104社、近畿141社、中国79社、四国55社、九州・沖縄46社、無回答4社

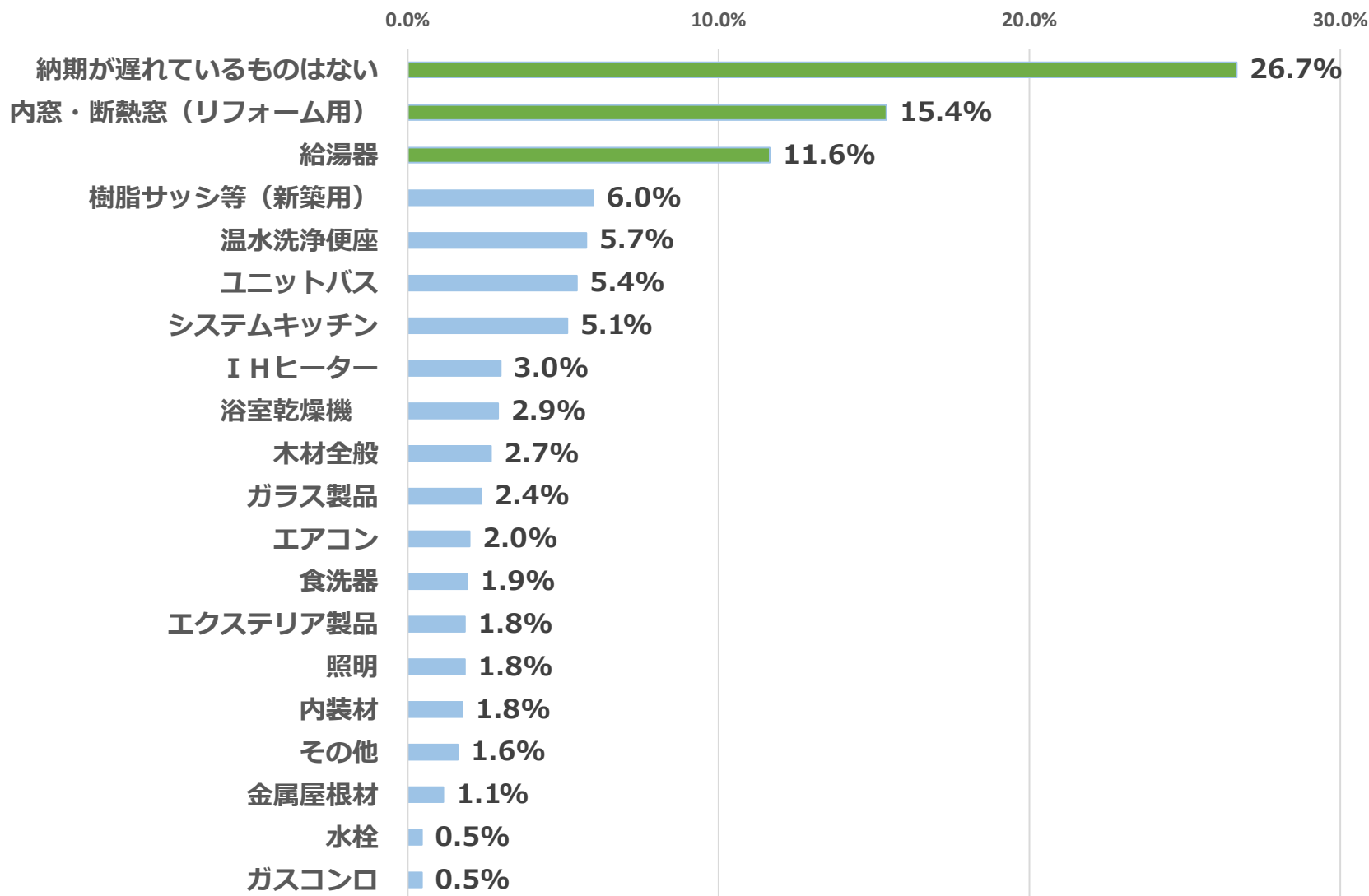
(2) 年間売上高



(3) 従業員数（雇用者）



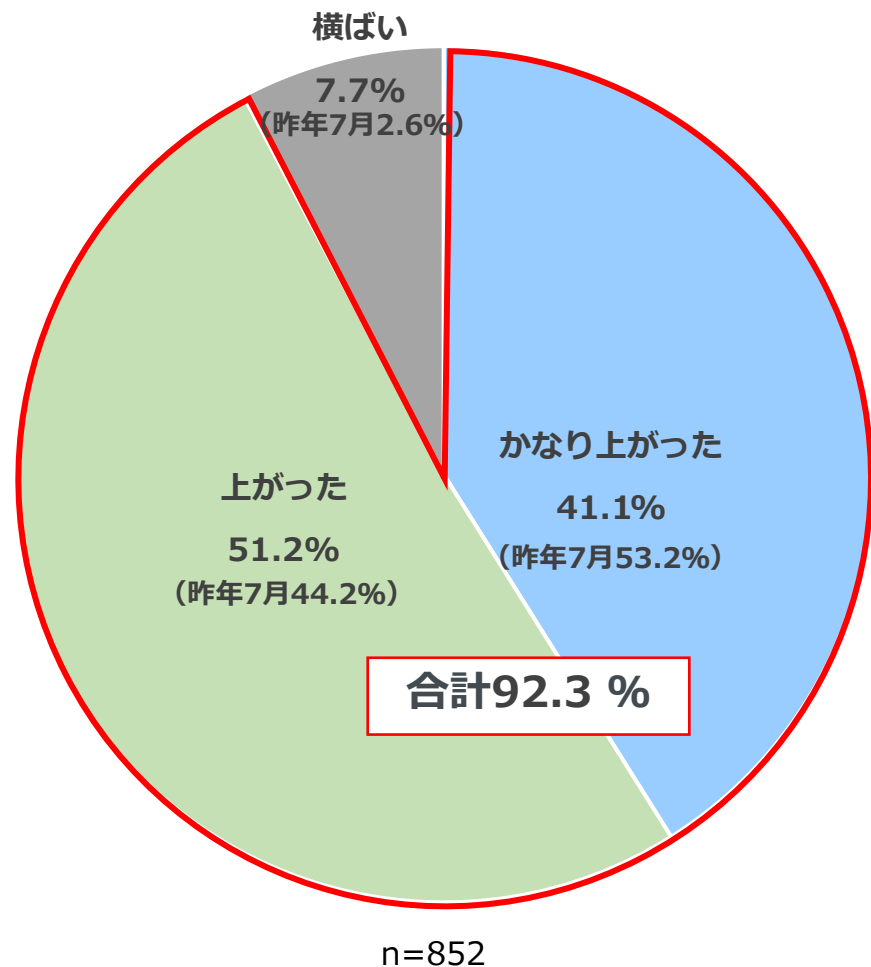
2. 通常の納期を超えて、 納品まで概ね1ヶ月以上かかる建材や設備機器



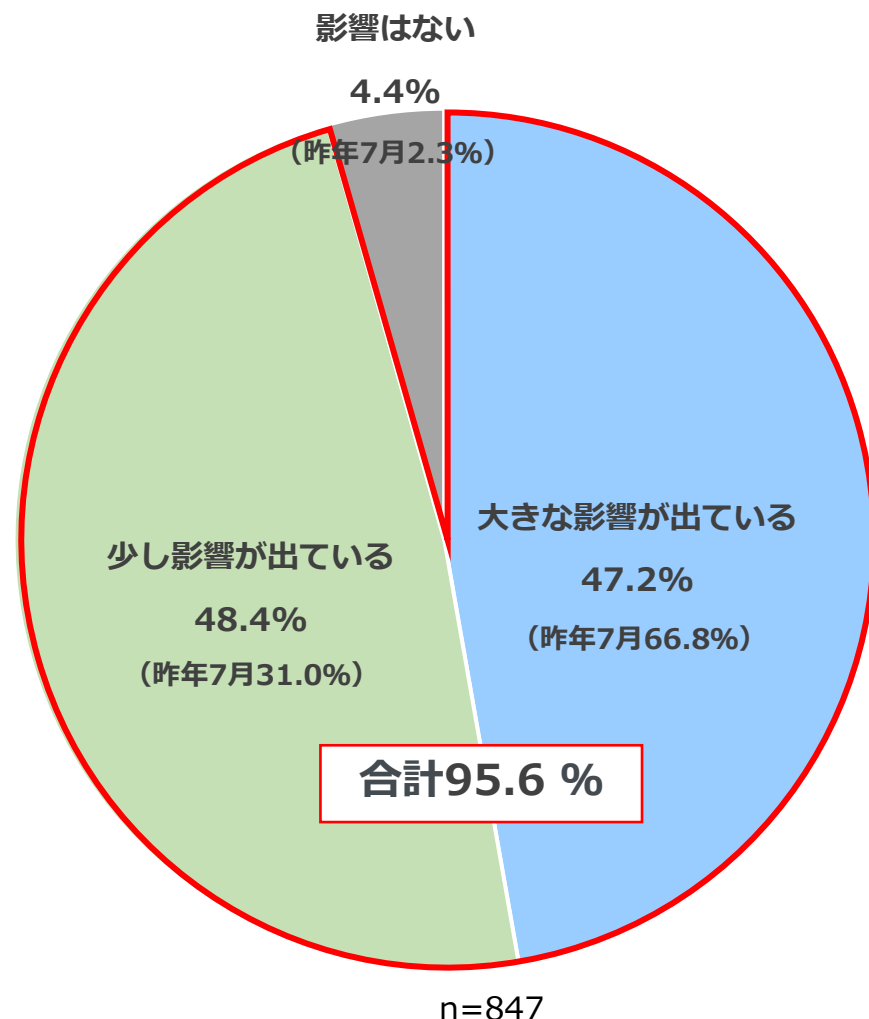
(複数選択可) n=1,305

3.住宅の建材・設備の価格高騰の影響について 1年前（2022年4月）との比較

(1) 工事原価の状況

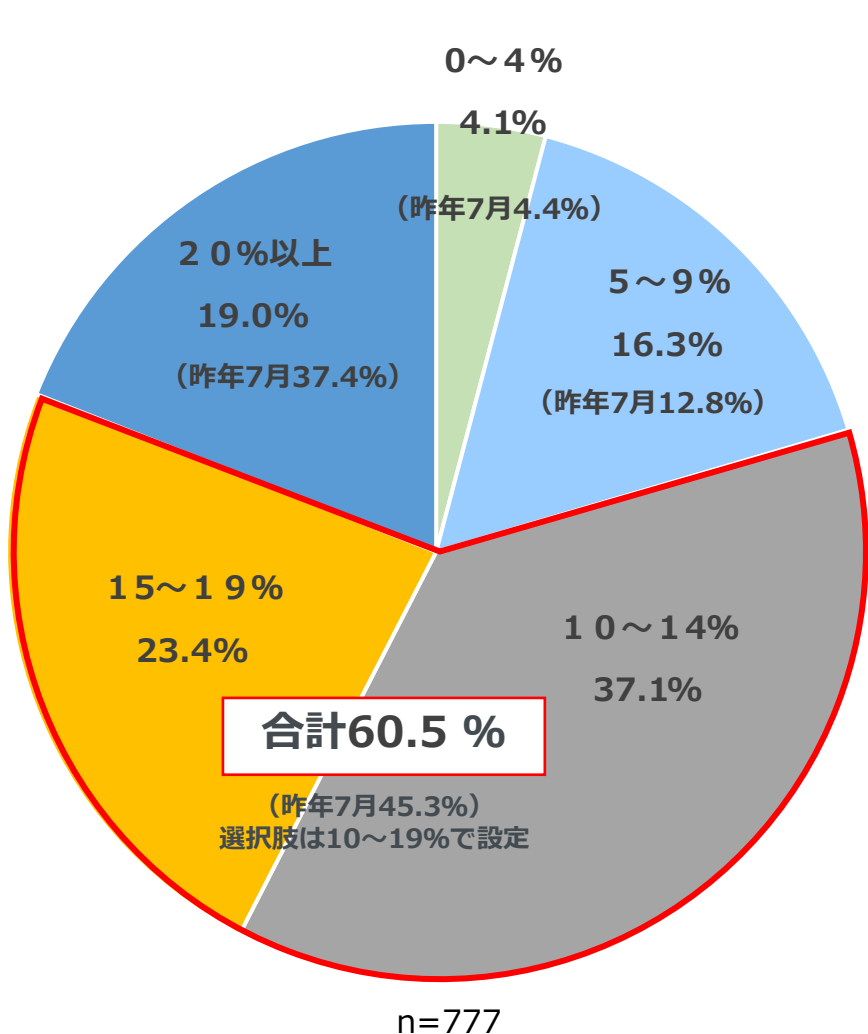


(2) お客様に提示する見積価格への影響

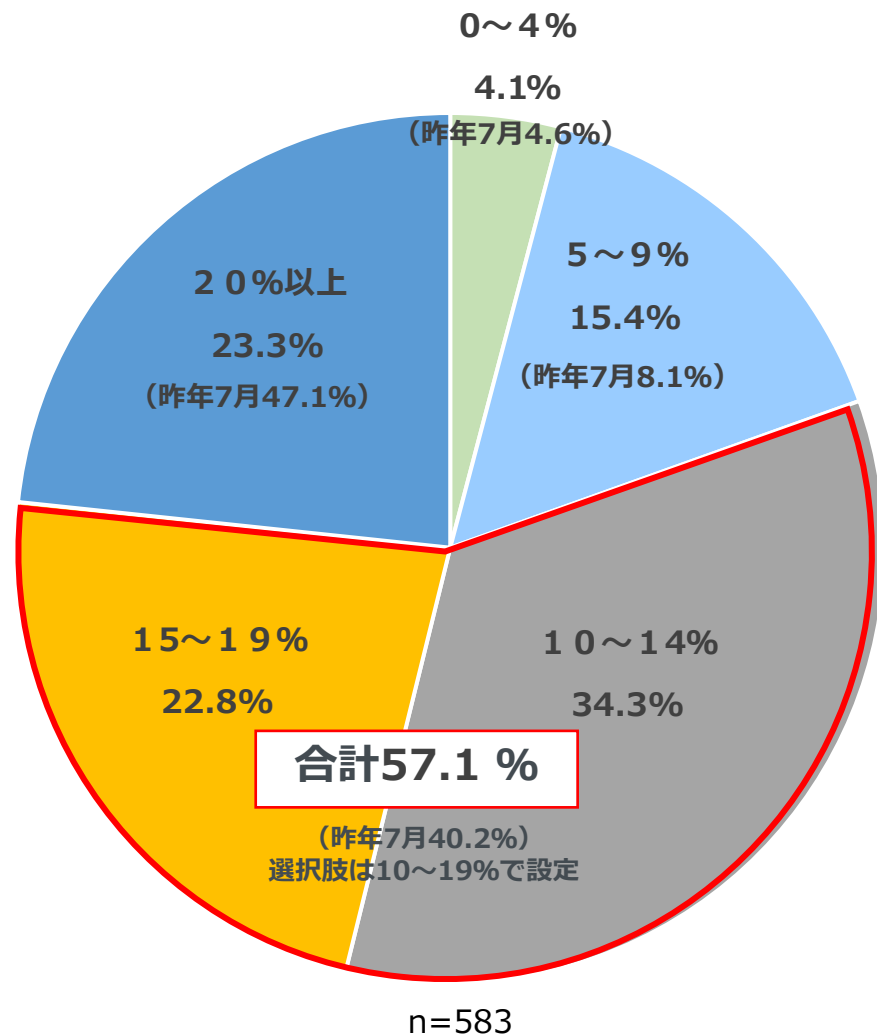


3.住宅の建材・設備の価格高騰の影響について 1年前（2022年4月）との比較

(3) ①リフォーム－工事費に対するの値上がり率

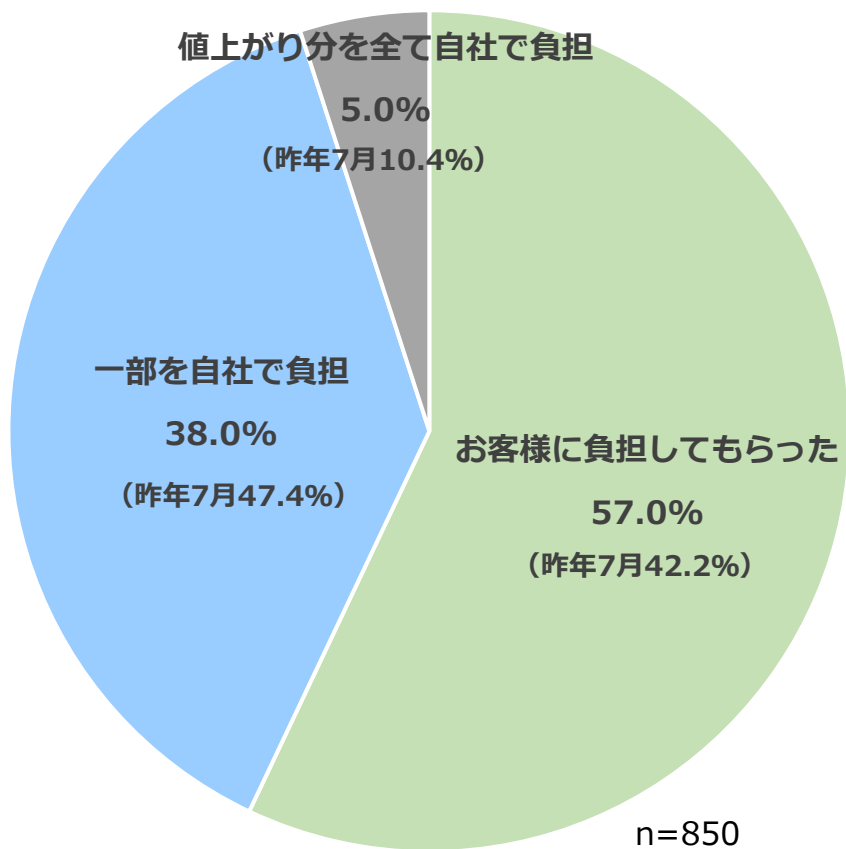


(3) ②新築－工事費に対するの値上がり率

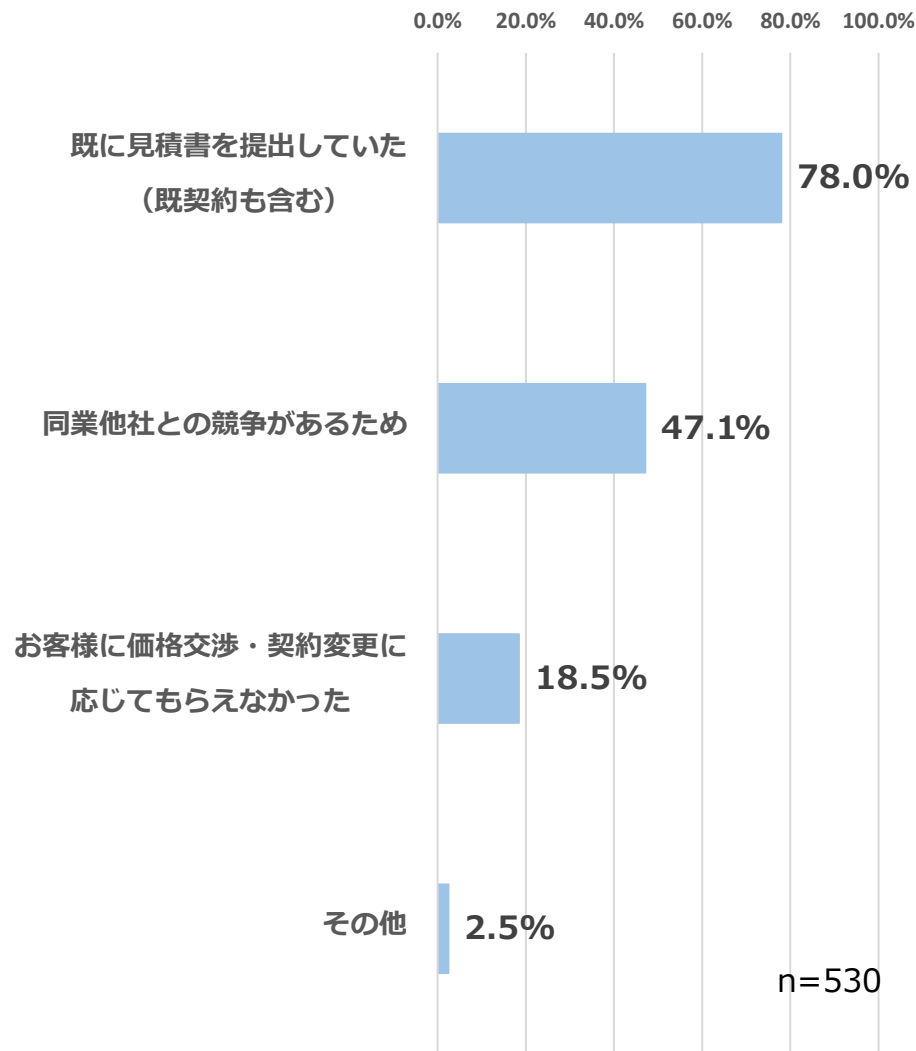


3.住宅の建材・設備の価格高騰の影響について 1年前（2022年4月）との比較

(4) 値上がり分のお客様への価格転嫁の状況

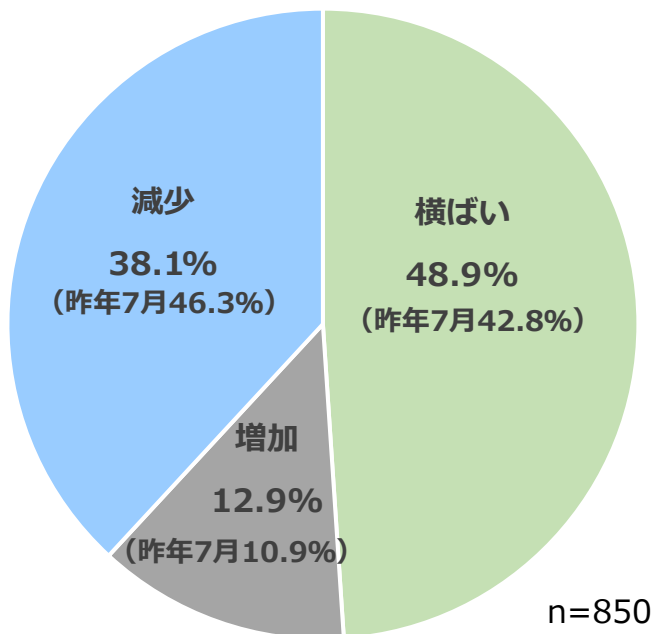


(5) 価格転嫁できなかった理由

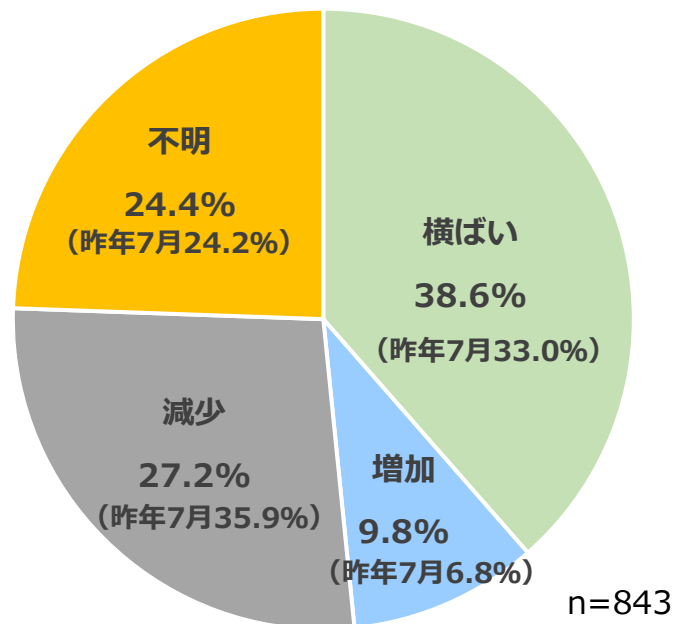


4.経営への影響について 1年前（2022年4月）との比較

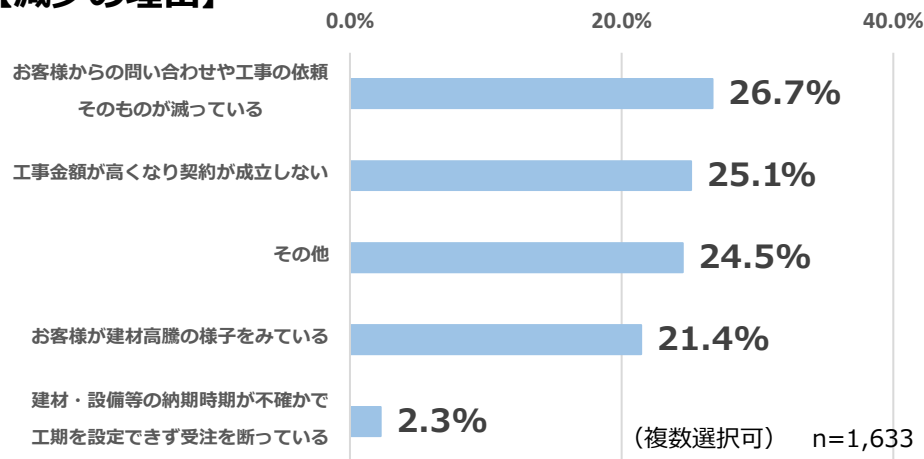
(1) 受注状況（前年同月との比較）



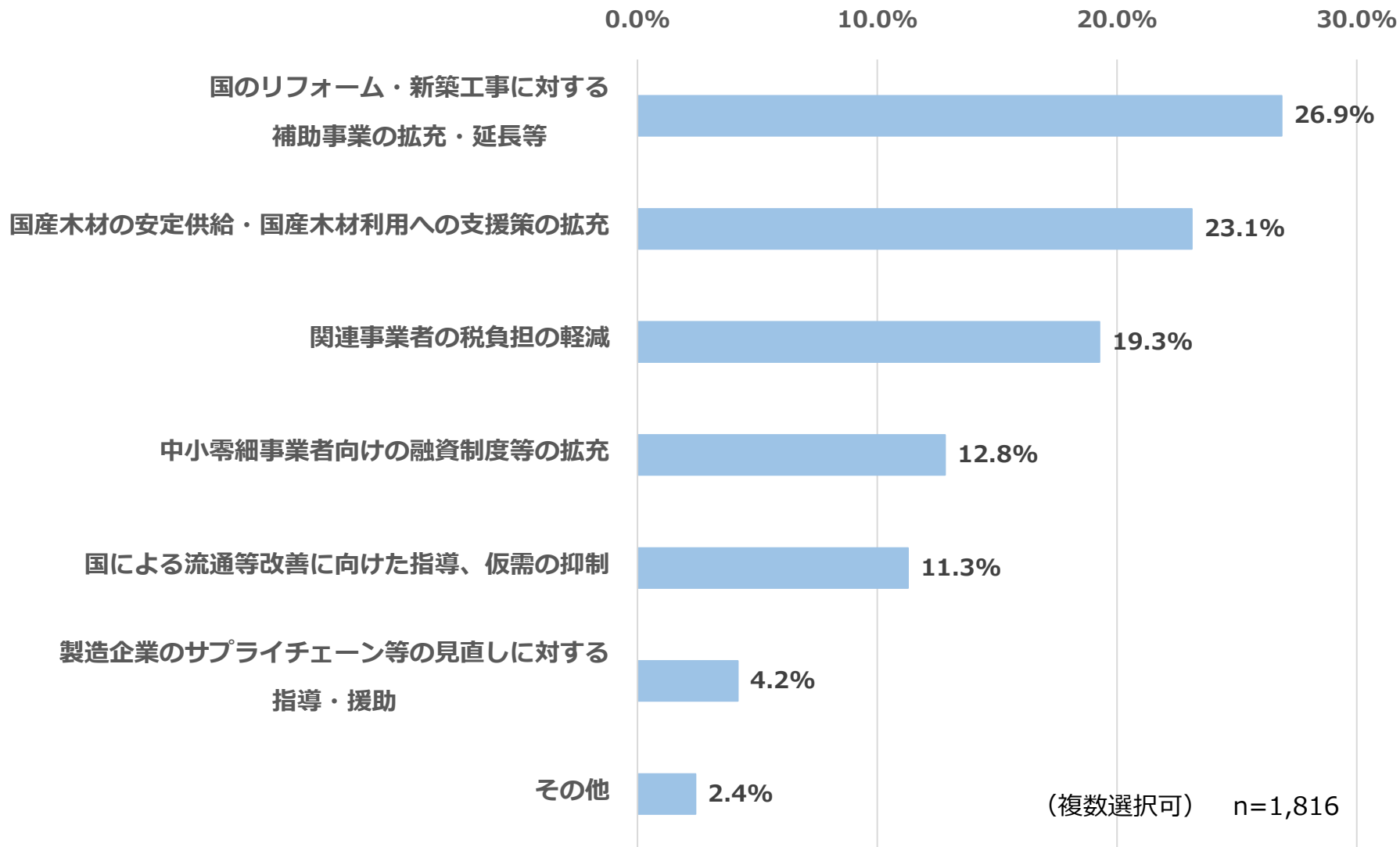
(2) 今後の受注見通し



【減少の理由】



5.制度・政策要望



仲間の声

■ 納期が遅れている	こどもエコ住まい支援事業にて内窓だけ仕入が遅れる。工事が終わってからの申請になるので、他の補助対象工事が終わっても申請できない。予約申請をしても、予算がある間に申請できないかもしれない。お客さんへの説明に困っている状態。補助の拡充や延長などしてほしい。
■ 建材・設備の価格高騰の影響	<ul style="list-style-type: none">▶合板価格が他の木材に比べて高いままなのはなぜか。調査して欲しい。▶仕入れ金額が増えたことも大変な重荷だが、産廃費用も値上り続けていることも懸念される。▶最近、メーカーからの設備品搬入運搬費が別途請求されるようになってきた。▶省エネ改正に伴い断熱施工等の費用も増加となっている。
■ 価格転嫁	請負金額を上げたいが、同業他社との競合で値上がり分を見積りに転嫁できないために、利益を圧縮して対応している。このままでは中小零細企業の倒産が増えると思う。国からの中小建設業への減税や補助金をお願いしたい。
■ 制度・政策要望	<ul style="list-style-type: none">▶物価がどんどん上り続ければ、若い世代の住宅建築は難しくなるだろう。仕事が減少し、悪循環が続く。国としても何らかの施策を講じてほしい。▶2025年の法施行に伴う増改築の減少が気になり。▶国のリフォーム、新築工事に対する補助事業を拡充・延長等を希望する。▶こどもエコすまい支援事業を延長してほしい。もっと申請しやすくしてほしい。▶省エネ法、石綿則、インボイスなどルールが変わりすぎていていくのが大変。▶石綿調査費用に対して補助が欲しい。
■ 補助金が複雑	<ul style="list-style-type: none">▶WEB申請が年配者の個人工務店には利用しにくくなっている。▶昼間は現場で仕事をしているので、書類作成が夜になっている。簡単な書類作成に変更できないか。一人三役こなしていかななくてはならない。▶紙ベースでの登録も考えてほしい。▶コールセンターが繋がりにくい。▶補助事業の申請について、スピード感を持って早く返答して欲しい。申請方法がWEB申請になり、返答がより遅くなったように思う。▶3省が進めるキャンペーンの違いが複雑で、建材や等級によって補助額も違うので、難しくて施主に説明できない。ひとつにまとめて出来ないのか。

仲間の声

■ 減税/税金	<ul style="list-style-type: none">▶減税してほしい。特に消費税免税事業者は、インボイスによって10パーセントの負担をもちに受ける。▶全体的に物価が上がっているので、消費税を下げるなどして対策してほしい。▶一人親方で来てもらっている外注に対して、インボイス制度への対応をどうすれば良いか悩んでいる。
■ 融資	<ul style="list-style-type: none">▶コロナ禍対策で借りたゼロ金利の期間が終了し、今年から返済がはじまる。工事受注は、ゆるやかな増加傾向で、とても返済がついて行かず、行き詰まることが予想される。無利子期間の1年延長等対策を早急にしてもらいたい。▶融資もありがたいが、先行きが見えないのに借入れは厳しい。▶中小零細事業者向けの融資制度等の拡充をお願いしたい▶コロナ融資等の返済猶予、また借換えについて銀行はアナウンスをしていない。
■ 国産材	<ul style="list-style-type: none">▶国産材の有効活用の研究と、物流の改善が重要と考える。▶林業の支援、国産材の利用を促進してほしい。
■ 空き家	<p>空き家は増加する一方で、建売新築もどんどん増加。このままではいけない。空き家に対してもっと工務店が参入できるようにすると、我々のような古民家が好きな工務店がもっとがんばれる。</p>
■ その他	<ul style="list-style-type: none">▶コロナも落ち着いて来ているのでお客様もリフォーム等の話も多数出て来ている。▶働き方改革における労働時間短縮、福利厚生充実等を求められても、末端の零細企業では真面目に取り組めば取り組むほど痩せ細る現状。テキトーな会社とテキトーな職方ばかりが優遇されているのでは、まともな事業所は潰れてしまう。▶労働時間短縮により、工期が延びるようになった。工期が延びると、仮設足場事務所事務経費がその分多く必要になる。その経費が工事費に加算されて来ている。